

文化会館が完成

12月7日に落成式

町民広場内に建設を進めてきた横芝町中央共同利用施設（文化会館）が、十一月中旬に完成し、その落成式が十二月七日に

舉行されることになりました。会館の概要等につきましては次号でお知らせします。

三か年の研究成果発表

高い評価で校名広める 横芝小

十月二十六日、横芝小学校で『体力づくり全国公開研究会』が開かれました。これは、横芝小学校（藤代弘

一校長）が昭和五十六年に文部省から『体力づくり推進校』に指定されて三か年間に、「生きがい育てる体力づくり」をテーマに取組んできた、その研究成果を発表したものです。

研究会は県教育庁をはじめ、全国の小・中学校等から派遣された関係者二百有余名の方々が見守る中を、各分野の実践活動がつぎつぎと展開されましたが、充実した内容は高い評価を受け、横芝の校名を強く印象付けました。

同校体力づくり研究主任

金杉弘先生の談話

本校の体力づくりは、児童一人ひとりが進んで取組む体力つ

くりをねらいとし、生涯にわたって、自ら体力つくりのできる子どもを育てるようにしました。特に、体力つくりを広義にとらえ、身体的な体力の向上はもちろん、精神的な面を強調し、自ら生き生きと進んで運動や学習に取り組む実践学力をつけ、生活の体育化を図るようにしました。

したがって、体力づくりは、教科体育を中核として教育活動全体から推進され、さらに家庭との連携、協力のもとに児童の生活全体を見直し、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活ができるように指導してきました。その成果の発表として全国公開研究会が開かれました。その席上、参加された方々から「教師と児童が一体となって、生き生きと体力づくりに取組む姿はすばらしいことだ」「児童の一日の生活を通じた体力づくりであり、動作がきびきびとしてい

る」「みんな協力して助け合って学習している」などの声が聞かれ、一応の成果を上げることができたと思います。

努力が実り見事開花

中学生が栽培菊を贈る



贈る前の化粧なおし……

県の福祉教育の推進校として、活発なボランティア活動が続いている横芝中学校（土屋五六校長）では、十一月上旬丹精を込めて育てた大輪の菊花を町役場や老人ホーム、駅などに贈りました。

これは福祉教育の一助と、平凡なことや地味なことが苦手な子ども達に「菊づくりを通して地道にこつこつとやりとげる力を植えつけたい」というねらいも含めて、二年生全員が一人一鉢、学年主任の

伊藤芳徳先生の指導で取組み、早朝や放課後、あるいは休み時間、また夏休み中は交代で手入れに励みました。こうして半年間に及ぶたゆまない努力が実って見事に成長開花した菊は、いずれも立派な出来映えでとても初心者ものとは思えません。

役場では早速ロビーの随所に飾りましたが、職場の空気が一気に明るくなり、来客にも大変に好評を博しています。

年末年始特別警戒実施

12月10日

犯罪のない明るい町で新年を

1月10日



横小「体力づくり」